

めざそう！ 歯科訪問診療



一般社団法人

熊本市歯科医師会

発行にあたって

日本は世界に類を見ない速さで、超高齢化社会に邁進しております。その中で、人生の最後の時まで口から美味しく食べられるという事は、元気の源であり、最大の楽しみであり、人間の尊厳にもつながる所です。

現在、平均寿命と健康寿命には約 10 年の差があり、その間は何らかの形で他者の手助けを受けることとなります。少子高齢化社会に向かう中で、介護に係る人手不足も懸念されている所です。

私は、この差を埋めるのに必要なのが歯科医療であると考えます。最近、口腔と全身疾患との密接な関係が明らかにされて来ています。元気で長生きするためには、継続した口腔内の管理が必須であることは、誰もが認める所です。

今回、厚生委員会の在宅部門を中心として、このマニュアルを作成することができました。なるべく具体的にわかりやすくまとめたつもりです。ぜひ一読の上、訪問歯科診療への第一歩を踏み出していただければ幸いです。

一般社団法人 熊本市歯科医師会

会長 宮本格尚

CONTENTS

目 標 !! 04

歯科診療所・1カ月・1件の歯科訪問診療を!!

導 入 04 ~ 06

- 1 歯科訪問診療を行っている事を周知しよう
- 2 歯科訪問診療の流れを理解しておこう
- 3 歯科訪問診療の要請時に確認しておくこと
- 4 歯科訪問診療までの事務手続き、事前準備
- 5 歯科訪問診療に必要な器材・器具を準備しよう!

歯科訪問診療時の留意点 07

- 1 初回訪問時に確認、説明する事項
- 2 治療について意思決定ができるキーパーソンを把握しておこう
(生活背景を考慮した対応が必要です)
- 3 安全の確保を図るには

関係書類の準備と情報提供について 08

カルテ、処方箋、領収書など関係書類の準備

歯科訪問診療時に準備する基本的なグッズ …08 ~ 09

歯科訪問診療に慣れたら10

高齢化社会に有る現在、要介護高齢者や障害者など、在宅や施設、あるいは病院で療養され、歯科医院への通院が困難になっている方々は、年々増加する一方です。

その様な中で、最近になってようやく「口から食事を摂る」と言う事が、医科でも重要視され始めてきました。

医科、歯科、の連携が叫ばれる様になってから、歯科の訪問診療がにわかに注目されつつあります。

そこで、本委員会が「これからできる訪問歯科診療」というテーマで会員の参考になるよう冊子を作成しました。

これから訪問歯科診療に取り組んでみようという先生へ、基本的な考え方、準備する器材などを紹介しました。今まで訪問歯科診療をされていた先生にも、こういうものもあるんだ、と参考になればいいと考えています。

なお、熊本市歯科医師会ではこれまでのポータブルユニットヨシダ1台に加え、新たに昨年度ポータブルユニット1台(オサダ・デイジー)を購入、今年度は県からの補助で、ポータブルユニット(ヨシダ・ココロ)1セット、ポータブルレントゲン装置2台を準備しています。すでに貸し出しを行っていますので、必要な折は市歯事務局(322-9334)へ問い合わせください。

平成27年9月

在宅歯科検討臨時委員会



デイジー



ココロ



X-shot

目 標

① 歯科診療所・1カ月・1件の歯科訪問診療を！ を目標に、まず以下の様な事から取り組もう

- 1) 長年の患者さんで、通院困難になられた方を、本人または家族の 希望を受けて訪問してみよう
- 2) 簡単な歯科診療から行いましょう(義歯の調整等)
- 3) まずは、1件から始めよう



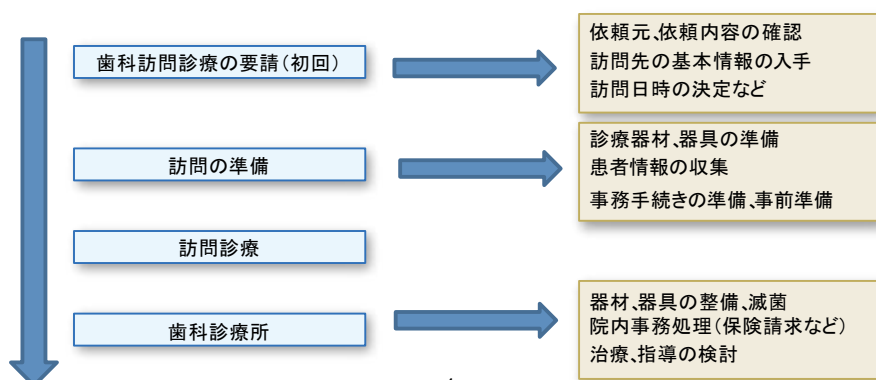
導 入

① 歯科訪問診療を行っている事を周知しよう

患者さんは今でも、訪問歯科診療が行われている事を意外にご存じありません。通院している時から、来院患者さんに「当院では訪問歯科診療を行っています」と周知させると共に、周辺地域にも周知させる事が大切です。その場合の留意点として以下の様な項目があげられます。

- I) 来院されていた患者さんが入院などで、通院困難になった場合は必ず連絡をもらう様にする。
- II) 待合室などでの訪問診療のポスター掲示や診察券等に歯科訪問診療についての記載を加えておく。
- III) 訪問診療が可能である事を地域にも周知する為に地域のサロン等のイベントで伝えたり、その事について院内掲示しておく。

② 歯科訪問診療の流れを理解しておこう



③ 歯科訪問診療の要請時に確認しておくこと

歯科訪問診療の依頼を受けた場合、受付では短時間で必要な情報を得る事が大切ではありませんが、電話では必要最小限な事項にとどめ、詳細は訪問時に情報を得る様にします。必要情報を以下に挙げてみますが、受付で聴く事、訪問先で聴く事をプログラムするのは、各歯科医院のオリジナルがあっても良いでしょう。

I)どこから、誰からの依頼か？

(患者、家族、歯科医師会関係、介護関連職、医科の主治医、訪問看護師など)

II)依頼の内容(主訴など) III

IV)訪問先は？

訪問先の住所、駐車場の有無、訪問の曜日や時間帯の希望、居宅、居宅系施設、介護保険施設、歯科標ぼうの無い医科病院など、訪問先に応じて、関係する多職種との連携も考えておきましょう。

IV) 家族や病院側の承諾は？ V)患者

者情報(医療、介護など)の概略は？

基礎疾患の状況、意思疎通の可否、食事の状況など



④ 歯科訪問診療までの事務手続き、事前準備

I)訪問当日は家族、ケアマネージャー、ヘルパー等の同席を依頼 第三者の同席で無用なトラブルを回避できます。

II)介護サービスの時間帯の把握(ウイークリープラン等の確認)

デイサービス、入浴サービス等の後は、疲労されている場合もありますので注意が必要です。

III)在宅主治医、訪問看護師の訪問日、時間帯の把握 IV)摂食指導の為、昼食時等に訪問する事も考慮 V)訪問当日は事前確認を行い、到着時間についても、知らせておく
と親切です。

⑤ 歯科訪問診療に必要な器材・器具を準備しよう！

まずは、基本的な診療器具を準備しましょう。それらを準備したら、最終的な運搬形態 を考えておきましょう。以下の写真のように、カバン、キャリーケース、工具箱などに器 材を収納してなるべく少ない荷物にまとめましょう。レントゲン、ユニットなどを持って いく場合もありますのでコンパクトに収納出来るようにしましょう。過去に履歴がある場 合には、予想される診療内容から器具を選定して持っていくのも良いでしょう。

注意点

在宅酸素療法を受けてらっしゃる場合には、火気、火花に十分注意して下さい。医療廃棄物は適正に処理して下さい。



ポータブルユニット。タービンバキュー ムが装備されています。歯科医師会の 貸し出し(有料)もありますので、ご 希望の方は歯科医師会までご連絡くだ さい。



ポータブル・レントゲン

診療内容によって
必要な器材をセット
して Box やカバン
に収納して運搬する



キャリーバッグ



運搬時の状態です。

歯科訪問診療時の留意点

① 初回訪問時に確認、説明する事項

- ① 基礎疾患や栄養状況の確認と生活状況、特に口腔清掃状況や食事の状況の把握。
- ② 主訴の確認と口腔領域の不具合の状況確認。
- ③ 医療サービスや介護サービスの把握と確認。
- ④ 口腔内診査・検査結果、治療方針、治療計画についての説明と同意。
- ⑤ 治療内容の説明と同意、会計事務についての説明と同意。
- ⑥ 状況に応じて高次医療機関との連携についての説明と同意。
- ⑦ 患者、家族との確固とした信頼関係の構築が在宅医療の成功の鍵。在宅医療には限界があることも事前に理解してもらう。
- ⑧ 訪問診療申込書に署名していただくと、トラブルを回避できます。

② 治療について意思決定ができるキーパーソンを把握しておこう (生活背景を考慮した対応が必要です)

- ① 患者本人、家族の希望や医療・介護の情報を収集することが大切。患者本人の意思決定が困難な場合には意思を代弁して決定できるキーパーソンの把握が必要。
- ② 医療や介護の情報収集は家族、ケアマネージャー、主治医、訪問看護師等多方面から。
- ③ 本人の意思を尊重しながら看護側の負担に配慮し療養や治療の価値観を共有することが大切である。自立支援と介護負担の軽減を図りながらの対応が必要。

③ 安全の確保を図るには

- ① 在宅で行える診療内容はケースによって異なる。一般に座位と開口が維持できれば、長時間の治療や複雑な観血処置を除けば治療は可能であるが、無理は避ける。
- ② 基礎疾患の状況とバイタルサインの確認（数日前からの変化の有無なども確認）
- ③ 治療内容、時間の確認と頭部固定、姿勢の保持、照明の確保、含嗽、吸引などの準備。
- ④ 治療中に必要に応じて血圧、酸素飽和度のなどの確認。
- ⑤ 術後の合併症への配慮と緊急時の対応法、連絡先などの説明。
- ⑥ 感染症対策に留意し、標準予防策を行うと共に、適切な医療廃棄物処理を行う。後日、治療後の状況の確認を行う。

★関係書類の準備と情報提供について

○カルテ、処方箋、領収書など関係書類の準備

- ・一部負担金の受け取り方法など事務的な事は家族、キーパーソン と話し合っておく事が重要です。
- ・必要書類はその場で記載出来るように携帯しておきましょう。
- ・居宅などでは、介護連絡帳、ノートなど関係者が状況を記載するものを利用、活用することが望ましいです。(全身状態の把握、摂食状況の把握、他職種への連携、連絡のため)



★訪問診療時に準備する基本的なグッズ



基本セット、グローブ等。口腔ケアセットも必要です。



基本セット。



ガーグルベイスン。訪問診療ではあると便利です。



血圧計。高齢者、有病者の多い訪問診療では心強いです。



パルスオキシメーター。血液中の酸素飽和度を測ります。高齢者、有病者では有用です。



ゴミ箱。診療後の廃棄物は持ち帰りましょう。



ポータブルエンジン。



義歯や補綴物の調整セット。
切削片が飛散しないようにゴミ袋を持参しましょう。



義歯や補綴物の適合を確認します。
調整セットと一緒に携帯しましょう。



印象採得セット。トレーは様々な大きさ、形態のものを準備しましょう。気温が高い場合は、冷水があるとよいでしょう。アルジネート印象では保湿ケースがあると便利です。



咬合採得セット。
ガスバーナーも忘れず携帯しましょう。



ガスバーナーとガス。携帯時は安全に留意しましょう。



浸麻セット。
まとめておくと便利です。



セメント類。



シリコン印象セット。
訪問診療では役立ちます。



光照射器。使用回数が多い場合は充電器、バッテリーを携帯しましょう。



レントゲンフィルム、インスタント現像セット。

「訪問診療に慣れたら・・・」

訪問診療の件数が増加したり、診療に慣れると、様々なタイプの患者さんの依頼が来る事が考えられます。歯科医師会などで開催される在宅医療系のセミナーには是非参加しておくといいでしょう。さらに、摂食嚥下リハビリテーション、障がい者歯科など書籍、セミナー等も受講して徐々に対応出来るようにしましょう。また、設備等が充実してくると、在宅療養支援歯科診療所などの加算も得られますので、加算条件なども赤本、青本等で調べて、なるべく早く条件を満たしていくように留意していく事も増点につながります。

無理せず着実に向上していきましょう。歯科医師会もHP、マニュアル、訪問歯科リストなど、行政との連携なども充実させていくよう努力しています。そういった取り組みの進捗にも是非留意して、状況を把握しておくことより良いでしょう。

在宅歯科検討臨時委員会

古川 猛 土 齋 藤 忠 継 福
井 偉 功 人 町 田 由 美 子 勇
雅 大

